



S.Sakaguchi

THE TOKYO YUSHUN
(JAPANESE DERBY)

第91回 東京優駿 (日本ダービー) (GI)

1着 賞300,000,000円 2着 120,000,000円 3着 75,000,000円 4着 45,000,000円 5着 30,000,000円
 付加賞 28,868,000円 8,248,000円 4,124,000円



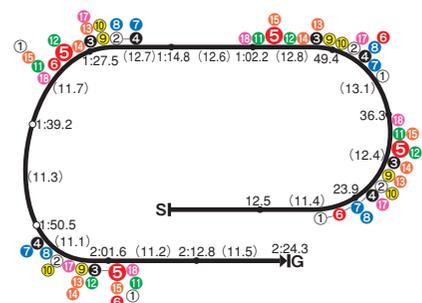
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牡・牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 牡馬57⁺kg、牝馬55⁺kg

2024.5.26 東京 晴・良 芝2400m (国際 種差)

順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑤	ダノンデサイル	牡	3	57	横山典弘	2:24.3	4-3-6-4	33.5	504(-2)	46.6⑨	安田翔伍(栗東)	120
2	⑫	ジャスティンミラノ	牡	3	57	戸崎圭太	2	2-3-2-4	33.9	512(±0)	2.2①	友道康夫(栗東)	117
3	⑩	シンエンペラー	牡	3	57	坂井瑠星	1¼	8-7-9-9	33.4	486(+4)	17.8⑦	矢作芳人(栗東)	115
4	①	サンライズアース	牡	3	57	池添謙一	1¼	17-17-2-2	34.4	524(-8)	125.9⑮	石坂公一(栗東)	113
5	②	レガレイラ	牝	3	55	C.ルメール	ハナ	10-11-14-13	33.2	458(+2)	4.5②	木村哲也(美浦)	109
6	⑥	コスモキュランダ	牡	3	57	M.デム-ロ	クビ	16-13-5-4	34.3	502(+2)	14.3⑥	加藤士津八(栗浦)	113
7	⑪	シュガークン	牡	3	57	武 豊	¾	2-2-2-1	34.7	504(+2)	22.0⑧	清水久詞(栗東)	112
8	⑧	エコヴァルツ	牡	3	57	岩田康誠	クビ	1-1-1-2	34.7	486(±0)	160.0⑳	牧浦充徳(栗東)	112
9	⑬	シックスペンス	牡	3	57	川田将雅	クビ	4-5-6-7	34.0	488(-4)	8.3③	国枝 栄(美浦)	111
10	③	ジュンテイク	牡	3	57	岩田望来	クビ	6-7-9-7	34.1	484(-2)	109.4⑱	武 英智(栗東)	111
11	④	アーバンシック	牡	3	57	横山武史	¾	14-13-14-15	33.5	512(+2)	8.3④	武井 亮(美浦)	110
12	⑨	サンライズジバング	牡	3	57	菅原明良	クビ	10-10-12-13	33.6	506(-4)	128.5⑯	音無秀孝(栗東)	110
13	⑭	ゴソバデアブース	牡	3	57	松山弘平	¾	6-6-8-9	34.1	462(-4)	67.9⑰	堀 宣行(美浦)	109
14	⑦	ダノンエアズロック	牡	3	57	J.モレイラ	クビ	8-9-12-9	34.1	492(±0)	12.7⑤	堀 宣行(美浦)	108
15	⑮	ショウナンラブンタ	牡	3	57	鮫島克駿	アタマ	12-11-9-12	34.0	536(+8)	81.2⑲	高野友和(栗東)	108
16	⑯	ミスタージーティー	牡	3	57	藤岡佑介	アタマ	14-16-16-16	33.4	460(-8)	94.6⑳	矢作芳人(栗東)	108
17	④	ピザンチンドリーム	牡	3	57	西村亨也	1¼	12-13-16-16	33.7	458(+2)	61.2⑱	坂口智康(栗東)	106
競消	⑩	メイショウタワウル	牡	3	57	浜中 俊						石橋 守(栗東)	

単勝⑤4,660円(9⁺kg) 複勝⑤700円(9⁺kg) ⑥120円(11⁺kg) ⑧380円(7⁺kg) 枠連③-⑦820円(3⁺kg)
 馬連⑤-⑫6,860円(20⁺kg) ワイド⑤-⑫1,380円(14⁺kg) ⑤-⑮8,000円(52⁺kg) ⑮-⑯660円(6⁺kg)
 馬単⑤-⑯21,490円(53⁺kg) 3連複⑤-⑮-⑯21,250円(55⁺kg) 3連単⑤-⑮-⑯229,910円(504⁺kg)
 5重勝⑩①④⑦⑤2,384,310円(224票) 対象競走: 東京9R/京都9R/東京10R/京都10R/東京11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
 36.3 - 49.4 - 1:02.2 45.1 - 33.8

アラカルト

- ・横山典弘騎手はワンアンドオンリーで制した14年に続く日本ダービー3勝目。56歳3カ月4日での勝利は、武豊騎手の54歳9カ月10日を更新するJRA重賞最年長記録。JRA重賞は本年3勝目、通算188勝目
- ・安田翔伍調教師は日本ダービー初勝利。41歳10カ月19日での勝利はグレード制を導入した84年以降では最年少記録。JRA重賞は本年3勝目、通算10勝目
- ・エビファネリア産駒はJRA重賞通算22勝目
- ・メイショウタワウルは疾病(左後挫臼)のため出走取消

ダノンデサイル Danon Decile

牡 栗毛 2021.4.6生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・榊ダノックス 栗東・安田翔伍厩舎
馬名意味・冠名+母名の一部

トップデサイルUSA系 F22-b

エピファネイア 鹿毛 2010	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S. Tee Kay
	シーザリオ 青毛 2002	スペシャルウィーク キロフプリミエールGB
トップデサイルUSA Top Decile 栗毛 2012	Congrats 鹿毛 2000	A.P.Indy Praise
	Sequoia Queen 黒鹿毛 2004	Forestry Barefoot Dyana

5代までのインブリード：RobertoS 4×M5 Seattle SleWM 4×S 5
Northern DancerS 5×M5

INTERVIEW

東礼治郎場長(社台ファーム)

この馬の本領発揮はこれからです

感動しました！ 皆様の応援があり、皆様に喜んでもらう。そんな勝利になりました。育成期は加速の際にスピード出力が大きくて体がついてくず、上ずるような走りでした。フィジカルがエンジンに追いつけば絶対に走るから、慌てずにつけていこうとスタッフたちに言い聞かせていました。この馬の本領発揮はまだまだこれからだと思っています。



R.Kaji

エピファネイア産駒の本馬は2022年のセレクトセール1歳市場において、1億円を超える価格で落札された経歴を持つ。京成杯を快勝して臨んだ皐月賞は、本馬場入場後に右前肢跛行を発症して競走除外となったものの、牧場時代から高く評価されていた素質、短い間隔で態勢を立て直した厩舎の仕上げ、そしてベテラン騎手のソツのないリードがしっかりと噛み合い、堂々の完勝で世代の頂点に君臨した。

父エピファネイア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 詳細はP.18参照

母トップデサイルUSA

北米、加9戦2勝(BCジュベナイルフィリーズ・米^{G1}2着、アルシバリアディーズS・米^{G1}2着)、17年輸入

トップザビル(18 牝父American Pharoah)持込 中央19戦2勝、地方12戦

1勝(東京シンデレラマイル2着)

スタティスティクス(19 牝父ハーツクライ)中央19戦2勝 ㊟

ディセニウム(20 牝父ダイワメジャー)不出走

ダノンデサイル 本馬(21 牝父エピファネイア)中央5戦3勝(日本ダービー

^{G1}、京成杯^{GIII})獲得総賞金382,000,000円

プレイントウルー(22 牝父イスラポニータ) ㊟

(23 牝父モーリス)

(24 牝父ホットロッドチャーリーUSA)

祖母セコイアクイーン Sequoia Queen

アメリカ産 北米2勝

ワンインアミリ One in a Milli(09 牝父Afleet Alex)北米1勝

シェイラテキーラ Sheila Tequila(10 牝父Kafwain)北米3勝、ミスビタ

ーズ Miss Bitters(ルイジアナフューチャリティ・米2着)の母

ハーバーバウンド Harbor Bound(11 驢父Rockport Harbor)北米1勝

トップデサイルUSA(12 前出)

トップティアラ Top Tiara(13 牝父Archarcharch)北米2勝

ジンジャ Ginja(18 牝父Quality Road)北米1勝(ラッキースペルS 3着)

コマンドーコンプトン Commander Compton(19 驢父Congrats)北米2勝

フォレストチャイズ Forest Chimes(20 牝父Tonalist)北米1勝

曾祖母ベアフットダイアナ Barefoot Dyana

アメリカ産 北米9勝(クリヴランドオークス・L、インプS・L、マディソンカウンティH、ヴィンセントスH、ラスカルS、ゴールデンロッドS^{G3}2着)

セコイアクイーン Sequoia Queen(04 前出)

母の父Congrats Congrats

アメリカ産 北米、首7勝(サンバスカルH・米^{G2})

[BMS代表産駒]**ダノンデサイル**(本馬)、**カラヴェル** Caravel(BCターフスプリント・米^{G1}、父Mizzen Mast)、**シーデアズザデヴィル** Shedaresthedevil

(ケンタッキーオークス・米^{G1}、父Daredevil)、**フォーエバーヤング**(全日本2歳優駿^I、UAEダービー・首^{G2}、父リアルスティール)

鮮やかなイン強襲で9番人気馬が戴冠

史上8頭目となる無傷の二冠馬が誕生するか。皐月賞をコースレコードで快勝し、牡馬クラシックロードを覆ってきた混戦の雲を吹き飛ばしたジャスティンミラノが、断然の支持を集めた今年のダービー。対抗候補には史上4頭目の牝馬制覇に挑むホープフルSの覇者レガレイラが推され、3戦3勝のシックスペンス、皐月賞4着のアーバンシックスがこれに続いたものの、勝利の軍配は9番人気の伏兵にあり、鮮やかなイン強襲を決めたダノンデサイルが第91代のダービー馬に輝いた。皐月賞でハイペースの大逃げを打ったメイショウタバルが枠順確定後に出走を取り消し、確たる逃げ馬が不在と

なったレース。大外枠を引いたエココヴァルツが注文をつけて先手を奪うと、意欲的に飛び出したダノンデサイルの横山典弘騎手は馬と呼吸を合わせながら好位のインに収まる。その外にジャスティンミラノ、2頭の背後にシックスペンスが続き、出足がつかなかったレガレイラは中団を追求。アーバンシックスは後方で末脚勝負に構えた。向正面半ばでは遅い流れを見越したサンライズアースが後方から進出。エココヴァルツ、2番手のシユガークンも心戦し、残り1000m地点から一気にペースが上がる。3頭の背後で戦況を見守ったジャスティンミラノは、直線に向くと馬場の真ん中へ持ち出し、前を呑み込みにかかったが、内々で脚を溜め、最内を突いて仕掛けられたダノンデサイルはさらに鋭い末脚を發揮。残り300m地点で先頭に立つと、ジャスティンミラノの反撃をまったく寄せ付けずにゴールを駆け抜けた。